

# 加害者にも被害者にも なりたくない

全国的に交通事故の発生件数が減少している中、65歳以上の高齢者が関わる事故、特に高齢ドライバーによる事故が多くなっています。



では、三豊市の現状はどうでしょうか。  
グラフ①②③は、市内の交通事故発生件数と死者数、負傷者数の推移です。これを見ると、いずれも数は減っていますが、それぞれに占める高齢者の割合は、むしろ

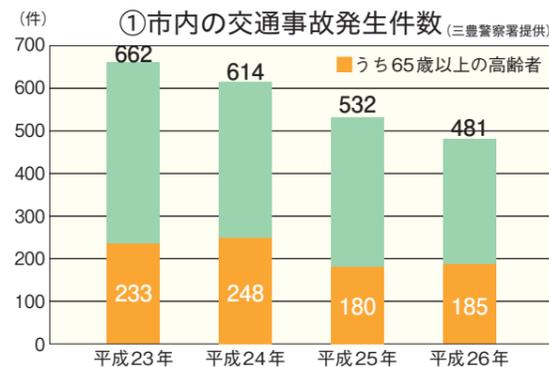
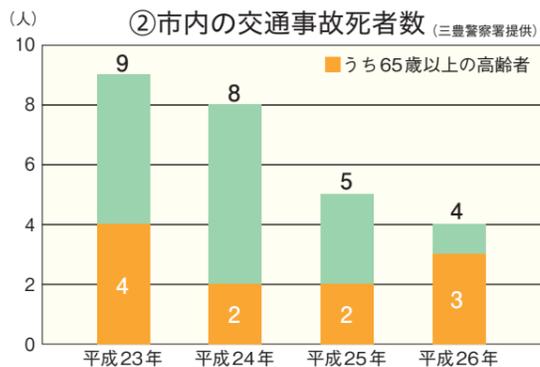
## 三豊市の現状

ここ何年かの交通事故発生状況の推移をみると、少しずつ減ってはきていますが、日本で一番狭い県で、依然として交通死亡事故が多発しています。

平成26年中の香川県の交通事故発生件数は8,942件。死者数は52人、負傷者数は11,044人でした。死者数のうち65歳以上の人は33人で、実に6割以上が高齢者です。人口10万人当たりの高齢者の死者数は、全国平均の約2倍の11・91人。全国ワースト6位です。

## 全国ワースト6位

高齢者の交通事故の割合が増えています  
死者数 全国平均の約2倍



みとよと学ぶ  
**先手の防災**

緊急地震速報が放送された**その時!**の対応を学びます。

**M's Lesson ⑫**

緊急地震速報を見たり聞いたりした後、強い揺れが来るまでわずかな時間しかありません

建物の中にいるとき  
・頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる  
・あわてて外に飛び出さない

屋外にいるとき  
・ブロック塀などの倒壊や、看板や割れたガラスの落下に注意し、ビルの上から離れる

自動車に乗っているとき  
・あわててブレーキをかけない  
・ハザードランプを点灯させ、揺れを感じたらゆっくり停止する

電車に乗っているとき  
・つり革や手すりなどにしっかりつかまる

**周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保することが大事です**

※次号より新しいシリーズが始まります

- 3 特集 **加害者にも被害者にもなりたくない**  
高齢者の交通事故の割合が増えています
- 6 **M's Information みとよ暮らしのおしらせ①**  
日曜開庁日のお知らせ / 香川県議会議員選挙 / 国民健康保険被保険者証の更新 / 固定資産税の縦覧・閲覧 / 軽自動車税の課税と減免 / ご当地ナンバープレート交付 / マーグレットの苗配布 / 仁尾町児童館移転 / コミュニティバス / 高速バス『三豊市役所』バス停留所 / トロッコ列車運行 / 狂犬病予防注射 / スポーツ少年団員募集 / 三豊市エコオフィス計画実施状況
- 14 **みとよHOT ほつとNEWS(ホットニュース)**
- 16 **M's Information みとよ暮らしのおしらせ②**  
特定公共賃貸市営住宅入居者募集 / アライグマ・ヌートリア防除従事者養成講習会 / 「無許可」の回収業者に注意 / 国民年金 / 健康課からのお知らせ / 弥谷市 / 人形浄瑠璃インみとよ / 宗吉史跡まつり / 七福求めて ぶら〜り みとよ 2015 春編
- 20 **M's 深読みひろば**  
少年育成センター / じんけん探訪 / 文化財 / 定住
- 22 **3月のお知らせ**  
募集 / 相談 / 講座・教室 / イベント / マリンウェブ情報 / 国際交流協会
- 25 **保健・相談**
- 26 **ここ笑み通信** ~子育てするなら三豊が一番!~  
食育 / ウィズの会 / M's Smile ふおとぎやらりい / 乳幼児健診 など
- 28 **みとよ写真帳 / 編集後記**

三豊市の人口 ※平成27年2月1日現在 ( )内は前月比  
世帯数 23,276 世帯(-24) 総人口 65,897 人(-95) 男 31,359 人(-61) 女 34,538 人(-34) ※香川県人口移動調査による

## 表紙 今月の市民力



20年以上前から、毎年2月に交通安全キャンペーンを行っている豊中町桑山地区の帰来昭和会と子ども会、老人会の皆さん。地域に住む老若男女3世代が集まって、交通事故にあわないために注意することを学んだり、運転中のドライバーに交通安全メッセージを添えた花の苗を配って安全運転を呼び掛けたりしています。

みんなで集まる一番の理由は、地域のつながりをつくること。「みんなが一つになることが、地域を元気にします」と、皆さん、笑顔で言います。

このキャンペーン以外にも春のお花見や納涼祭り、運動会、自主防災会など、年に何度も集まり、世代間の交流を深めています。顔を合わせることで、あの子は○○さん、この子やな、さん、この子やな、さんとおばあちゃんはお○○ちゃんのおばあちゃんやなどというのがわかります。相手を知ることとで安心感が生まれ、地域のつながりもできてきます。

「顔つなぎは心つなぎ」ですよ。これからもずっとこの活動を続けていきたいですね。3世代のふれあい、地域の活力の源になっています。

## 私たちも返納しました

山本町河内 西山 照子さん(79歳)・高橋 弘美さん(77歳)  
平成26年12月24日返納

私もバイクに乗っていましたが、左足が悪くなり、信号などで止まっていたときによろけたりして、自分で危ないと思い返納しました。最初は不便だなと感じていましたが、慣れるとそうでもないです。最近、だんだんと手や足の力もなくなってきたので、返してよかったなと思います。もらった温泉利用券で、さっそくお風呂に行ってきました。楽しかったですよ。

私はバイクを運転していましたが、腰や足が痛くなって、家族も「乗るな」と言うので、返納しました。自分が思うときに走れなくなって不便だなと思います。買い物も家族がいるときに頼まないと行けない。コミュニティバスがもう少し近くを走っていたらなあ。小型のバスでいいので、毎日でもなくても必要ときに利用できればと思います。



西山さん

高橋さん

問い合わせ 73・3000

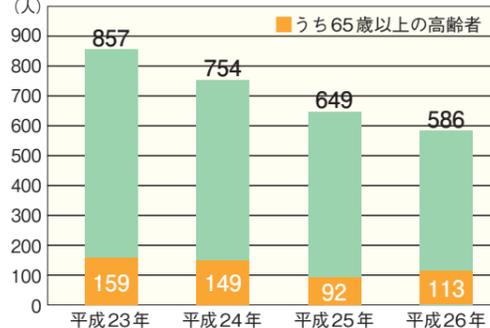
### 記念品(次のうち2品目)

- 市商品券 5千円分
- 温泉利用券(1カ所のみ)  
たかせ天然温泉 10回分  
ふれあいパークの湯 5回分  
たからだの里環の湯 13回分
- 市コミュニティバス回数券 55回乗車分

## 高齢者の交通死亡事故

高齢者が被害者となる事故の大半は、横断してはいけないところを横断中に発生しています。また、夕暮れの時間帯(午後4時〜7時)に多発しています。事故にあわないためには夜間の外出はなるべく控え、どうしても

③市内の交通事故負傷者数 (三豊警察署提供)



## 高齢ドライバーの事故の特徴

高齢ドライバーの事故の特徴は、交差点での出会い頭の事故が多いということ。市においても、前述の高齢者が関係した事故185件のうち、交差点での安全不確認による出会い頭の事故が69件で最も多く、次いで前方不注意による追突事故が42件でした。原因として考えられるのは、次のような加齢による身体の変化です。



- 老化により視力や聴力が低下し、危険な状態の発見や回避が遅れがちになる
- 運動神経や感覚神経の動きが低下し、とっさの行動が遅くなる
- 記憶力や注意力が低下し、運転に必要な判断や決断が遅れる

平成26年中の交通事故発生件数は481件で、高松市、丸亀市、坂出市に次いで県内ワースト4位。このうち、65歳以上の高齢者が関係した事故が185件で、その内訳は高齢者が加害者になった事故が108件、被害者になった事故が77件でした。

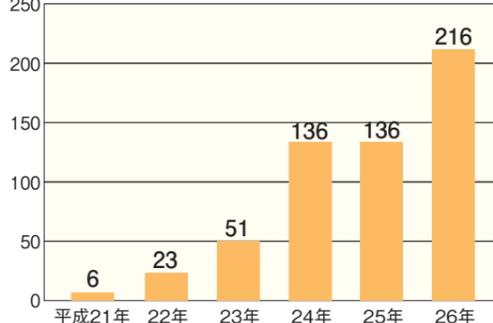
「高齢者イコール事故の被害者」というイメージがありますが、実は加害者になるケースも多いのです。

公共交通機関が少ない地域に住む高齢者にとって、通院や買い物などに車は必要です。高齢ドライバーの皆さんは、交差点でのいっ

## 運転に不安を感じたら

たん停止や左右の安全確認をしつかり行い、安全運転に努めましょう。市では、高齢者の交通事故を減らすため、平成24年度から、県が行う「有効期限内の運転免許証の自主返納」を支援しています。これにより、グラフ④のとおり免許証を自主返納する高齢ドライバーの数は、格段に増えています。

④運転免許証の自主返納数 (三豊警察署提供)



免許証を自主返納した人には、次のような特典があります。**優遇店でお得なサービス**  
65歳以上の人は、返納時に警察で交付される「運転経歴証明書」(交付手数料 千円)を提示すると、県内の優遇店で割引などのお得なサービスが受けられます。

- 受付時間**  
月〜金曜日  
(祝日、休日は除く)  
三豊警察署  
午前8時30分〜正午  
午後1時〜4時  
運転免許センター  
午前10時〜11時30分  
午後2時30分〜4時  
※本人しか申請できません。

1万円相当の記念品  
70歳以上の人は、返納時に「申請による運転免許の取消通知書」を受け取り、市総務課で申請すると、1万円相当の記念品がもらえます。代理人でも申請できます。

**受付時間**  
開庁日の午前8時30分、午後5時15分  
手続きに必要なもの  
「申請による運転免許の取消通知書」と印鑑



▲横断歩道の安全な渡り方について学びました(比地大老人クラブの皆さん 平成26年7月11日)

出なければならぬときは、反射材などを身につけましょう。夜間に起きた事故のほとんどは「反射材を身につけてさえいれば」というものばかりです。また、道路を横断する際には、しっかりと左右の安全を確かめて、必ず横断歩道を渡るようにしましょう。

市では、歩行者の交通事故を防ぐため、支所や健康課で反射タスキと靴用反射テープを配布しています。また、県をはじめとするさまざまな団体と協力して、交通安全教室や街頭キャンペーンを行い、事故の防止を呼びかけています。



三豊警察署交通課長 藤田秀幸さん

## 交通事故は他人ごとではありません

今年に入って県内の交通事故はすでに千件を超え、死者数は昨年の同時期の2倍以上となつています。特に高齢ドライバーによる事故が全体の割合として増えているので、少しでも運転に不安を感じたら、勇気をもって運転免許証の自主返納を考えてください。また、夜間の外出は控え、外出するときは反射材などを着用して、自分の身を守るようにしましょう。交通事故は、他人ごとではありません。自分だけではありませぬ。自分だけでなく、家族をはじめ、大勢の人の人生を狂わせます。一人ひとりが「絶対に事故を起こさない」という強い気持ちで、交通ルールを守ってほしいと思います。

交通事故の加害者にも被害者にも、なりたくない人はいません。運転する人もしない人も、交通ルールを守って、みんなが安心・安全に過ごせるよう心がけましょう。